



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東  
 コード番号 4680 URL <https://www.round1-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 純 TEL 06-6647-6600  
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月3日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	86,031	12.0	13,009	24.2	12,823	21.9	8,687	11.5
2024年3月期中間期	76,830	13.8	10,477	51.2	10,515	47.8	7,789	48.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 6,680百万円 (△37.6%) 2024年3月期中間期 10,711百万円 (6.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.18	32.10
2024年3月期中間期	28.76	28.71

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	202,802	75,368	37.1	278.32
2024年3月期	185,464	70,537	37.9	260.59

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 75,167百万円 2024年3月期 70,277百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	2.50	2.50	3.50	3.50	12.00
2025年3月期	4.00	4.00			
2025年3月期（予想）			4.00	4.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,310	7.6	25,700	6.2	25,060	3.1	17,000	8.5	63.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	288,165,942株	2024年3月期	287,780,142株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	18,093,430株	2024年3月期	18,092,970株
-------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	269,923,937株	2024年3月期中間期	270,856,205株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復傾向で推移しているものの、歯止めがかからない物価高による個人消費の落ち込みや不安定な為替相場の状況が懸念されており、引き続き注視する必要があります。

他方、世界経済においては、不安定な金融資本市場やロシア・ウクライナ紛争の長期化、悪化の一途を辿る中東情勢の影響により、依然として景気の先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社グループの企業理念である「世界中の人々へ『笑顔と健康とコミュニケーションの場』を提供」すべく、エンターテインメント事業の多様化や新規開発が世界規模で進行中、各セグメントにおいて、新たな価値の創造に努めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高86,031百万円(前年同中間期比12.0%増)、営業利益13,009百万円(前年同中間期比24.2%増)、経常利益12,823百万円(前年同中間期比21.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益8,687百万円(前年同中間期比11.5%増)となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (日本)

クレーンゲームに対する需要が引き続き高い傾向であることから、新たに当社2店舗目のクレーンゲーム専門店となるクレーンゲームパーク町田ジョルナ店(東京都)をオープンしたほか、従来から人気のある大型のぬいぐるみや雑貨の景品に加え、小型のマスコットやフィギュアの景品を多数投入するために、各店においてミニクレーンゲーム機の増台を進め、多種多様な景品を取り揃えて展開いたしました。また、人気のアニメコンテンツやゲーム、アーティストとのコラボキャンペーンについても継続して実施し、当社でしか体験することができないコラボルームでの特典映像の放映やコラボ限定グッズの配布等を行うことで、新規顧客層の開拓に努めました。さらには、アミューズメントにおいて当中間連結会計期間にて発売されたメダルゲームやアーケードゲームを導入したほか、スポッチャにおいても「でかあぁバレーボール」等の体験型最新アイテムを導入することで、売上の向上を図りました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比8.7%増、アミューズメント収入は前年同2.2%増、カラオケ収入は前年同7.5%増、スポッチャ収入は前年同14.3%増となりました。

#### (米国)

新たにラスベガスサウスアウトレット店(ネバダ州)、プラザボニータ店(カリフォルニア州)、ガーニーミルズ店(イリノイ州)をオープンし、営業基盤の更なる強化を行いました。また、日本と同様、クレーンゲームに対する需要が米国においても高水準を維持していることから、「Mega Crane Zone」の導入やミニクレーンゲーム機を中心としたクレーンゲーム機の増台を行い、様々な景品を投入することで、業績の向上に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比13.0%増、アミューズメント収入は前年同21.9%増、飲食・その他収入は前年同30.7%増、スポッチャ収入は前年同30.9%増となりました。

#### (その他)

その他の事業セグメントにおいては、中国にアミューズメント施設の出店準備を進めるとともに、ラウンドワンデリシャスの事業展開の準備を行っております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17,337百万円増加の202,802百万円となりました。この要因は、現金及び預金が17,266百万円増加、未収消費税等が1,121百万円増加したこと等による流動資産の増加16,304百万円と、使用権資産(純額)が2,162百万円増加したこと等による固定資産の増加1,033百万円によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ12,506百万円増加の127,433百万円となりました。この要因は、1年内返済予定の長期借入金が2,228百万円増加、設備未払金が1,383百万円減少、未払法人税等が1,244百万円減少したこと等による流動負債の減少1,429百万円と、長期借入金が13,272百万円増加、リース債務が802百万円増加したこと等による固定負債の増加13,936百万円によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,831百万円増加の75,368百万円となりました。この要因は、親会社株主に帰属する中間純利益8,687百万円の計上、配当金2,023百万円の支払等による利益剰余金6,663百万円の増加、為替換算調整勘定1,999百万円の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.1%(前連結会計年度末は37.9%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,463	53,729
売掛金	2,721	1,646
商品	440	444
貯蔵品	3,939	3,666
その他	4,630	5,013
流動資産合計	48,196	64,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,196	101,863
減価償却累計額	△57,852	△59,270
建物及び構築物(純額)	42,344	42,592
土地	5,603	5,603
リース資産	34,410	34,732
減価償却累計額	△18,147	△20,016
リース資産(純額)	16,262	14,715
使用権資産	33,912	36,125
減価償却累計額	△1,074	△1,125
使用権資産(純額)	32,838	35,000
その他	71,323	72,575
減価償却累計額	△43,732	△44,748
その他(純額)	27,591	27,827
有形固定資産合計	124,639	125,739
無形固定資産	865	869
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,490	1,395
差入保証金	8,651	8,582
その他	1,621	1,715
投資その他の資産合計	11,763	11,693
固定資産合計	137,268	138,301
資産合計	185,464	202,802

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	417	316
短期借入金	700	600
1年内償還予定の社債	342	242
1年内返済予定の長期借入金	6,059	8,288
リース債務	16,418	15,582
未払法人税等	4,226	2,982
契約負債	4,767	4,596
その他	11,874	10,768
流動負債合計	44,807	43,378
固定負債		
社債	285	214
長期借入金	14,850	28,122
リース債務	44,988	45,791
資産除去債務	6,740	6,747
長期未払金	2,652	2,044
その他	600	1,134
固定負債合計	70,118	84,055
負債合計	114,926	127,433
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,454	25,571
資本剰余金	26,130	26,247
利益剰余金	19,738	26,401
自己株式	△10,004	△10,005
株主資本合計	61,318	68,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	14
繰延ヘッジ損益	2	△6
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	9,083	7,083
その他の包括利益累計額合計	8,959	6,952
新株予約権	259	200
非支配株主持分	0	0
純資産合計	70,537	75,368
負債純資産合計	185,464	202,802

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	76,830	86,031
売上原価	63,742	70,071
売上総利益	13,087	15,960
販売費及び一般管理費	2,609	2,950
営業利益	10,477	13,009
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	61
為替差益	246	-
持分法による投資利益	71	118
その他	135	67
営業外収益合計	473	248
営業外費用		
支払利息	330	304
その他	104	129
営業外費用合計	435	434
経常利益	10,515	12,823
特別利益		
関係会社株式売却益	159	-
受取補償金	721	-
新株予約権戻入益	-	4
特別利益合計	881	4
特別損失		
固定資産除却損	219	112
減損損失	63	-
特別損失合計	283	112
税金等調整前中間純利益	11,113	12,716
法人税、住民税及び事業税	1,673	3,333
法人税等調整額	1,650	695
法人税等合計	3,324	4,029
中間純利益	7,789	8,686
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	7,789	8,687

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	7,789	8,686
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,968	△1,999
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	△6
その他の包括利益合計	2,922	△2,006
中間包括利益	10,711	6,680
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,711	6,680
非支配株主に係る中間包括利益	△0	△0



(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	中間連結財務諸表 計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,836	28,150	75,986	843	76,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	47,836	28,150	75,986	843	76,830
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,377	3,421	10,799	△283	10,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。  
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	中間連結財務諸表 計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,712	34,447	85,160	871	86,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,712	34,447	85,160	871	86,031
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,871	4,478	13,349	△526	12,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。  
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。